

ジュニアリーダー研修リポート

ホームステイ語学 研修に参加して



新潟商業高校2年
齋藤 絵理子

私は、この20日間でもとても皆さんの経験や体験をすることができました。また、日本とオーストラリアの違いを見ることができました。その違いや自分の英語力がどこまで通じるかということが、私を不安にさせ、その不安の中でのスタートでした。

私が行った学校は、セントジョンフイツシャーカレッジです。そこには、ブリスベン市内から20キロの所にあり、町並がとてもきれいで緑豊かな所でした。ブリスベンは、オーストラリア第3の都市で、冬だというのに平均気温が9〜20度の間で、とても快適に過ごせました。午前中は英語のレッスンをし、午後からはホストシスターと一緒に授業に参加しました。英語レッ

スンでは日常会話やオーストラリアの歌・動物・方言などを勉強しました。せっかく方言を習ったので、これを使って会話をできるようにしました。午前中にはモーニングティーという、お菓子を食べる長い休み時間があり、とても驚きました。午後の授業では日本ではやらないようなことを体験したり、見たりできました。ドラマという創作ダンスのようなことをする授業や、体育でロッククライムをするこ

ともありました。また、日本とは違い、生徒が積極的に手をあげて発言したり、まだ言い終わっていないのにその発言に対する反論などを言っていました。オーストラリアでは自分の意見をはっきりと言うと聞いていたので、その通りだと思いました。そうゆう所を見習うようにしたいです。

ホームステイの半ばには、1泊2日のファームステイがありました。そこでは乗馬・登山・ムチ打ち・ブーメラン・トラクターの運転などを体験しました。敷地の広さにとっても驚いたし、この2日間は何をすることも初め

てのことが多かったもので、とても楽しく過ごしました。休日にはホストファミリーが色々な所に連れて行ってくれました。海・街・遊園地・動物園・そしていとこの家にも行きました。おじいちゃんがとてもおもしろい人で、話をしているととても楽しかったです。

ホームステイが終りに近づいてくると、すごく名残惜しいものがありました。毎日が英語だったので、けっこう耳が英語に慣れてきたところだったし、友達もたくさんできました。サヨナラパーティーで修了証書ももらった時は、すごく悲しい気持ちでいっぱいでした。長いと思っていただけ20日間があつという間に過ぎてしまいました。私は、自分の英語に少し自信が持てたし、この20日間がこれからの私に何かい影響を与えてくれると思います。



海外ジュニア

研修に参加して



新潟商業高校2年
児玉 依久美

私は7月27日から8月15日までの20日間、オーストラリアのブリスベンへホームステイをしました。

オーストラリアの人々はとても明るく、友好的で、すごく優しくしてくれました。私のたどたどしい英語でも一生懸命耳をかたむけてくれ、私が理解できない時は、簡単な英語でゆっくりと何度も説明してくれました。

私達はホストシスターと共に毎日学校へ行ったのですが、学校のみんなは積極的に話しかけてきてくれて、毎日楽しく学校へ行くことができました。私達のホストシスターは全員、日本でいう中学3年生でしたが、年下だということを忘れてしまうくらい、みんな考え方や行動が大人でした。私のホストファミリーに8歳の女の子がいましたが、その子でさえ私より年上なんじゃないかと思うほどでした。

しかし、むこうでも子供の好きなものは日本と大体同じで、たとえば、日本のアニメなんかはかなり人気がありました。特にポケモン、デジモン、ドラゴンボールなんかは、テレビでも放送され、様々なグッズが売り出されていきました。そして、けっこう日本語は、知られていて、「おはようございます」「やいぬ」「ねこ」など簡単な文章なら小さい子でも言えました。

私は今回の旅は、1日1日がとても貴重で長く感じました。英語を話さなければならぬ状況、というのが何より非日常的でありましたが、毎日毎日様々なことを体験し、考えたことが何より意味があることだったと思います。今回で、オーストラリアの文化についてわかったこともたくさんありますが、それ以上に日本についていろいろ感じたこともあります。日本人ならこういう場合こうするとか、日本語ならこう言えるとか、他の国に行つて初めて気づく日本の文化は素晴らしいとあり、情けなくもありました。

最後に、こんな一生に一度の貴重なチャンスを与えてくれた、学校や村、そして家族に深く感謝したいと思います。

広域情報 ネットワーク

かぐらイン笹川邸

○笹川邸において味方村の伝統芸能、神楽舞や味方穀倉太鼓などが披露される。
☆10/29(日) 13時30分から
□味方村観光協会 ☎37316133

鉄道まつり

○鉄道のまち新津ならではのイベント。この他に車両作製所一般公開(無料)や鉄道シンポジウム等も予定されている。
☆10/29(日) 10時〜15時
□新津市農・産業振興課 ☎025012412111

中之口村先人館

オープンイベント

○第36代横綱羽黒山を始め漢学者の小柳司氣太、東映創設者大川博の遺品展示を主として資料を陳列している。

羽黒山展示コーナー

・羽黒山等身大蠟人形
・鯉を主題とした三つ揃いの化粧廻し(相撲博物館所蔵・展示期間11/3〜12/24)
・横綱、優勝カップ、直筆の書等

小柳司氣太展示コーナー

・胸像
・自筆掛軸、「新修漢和大事典」等の著者類
・博士の自筆論文原稿等
大川博展示コーナー
・昭和37年東映フライヤーズ日本シリーズ優勝トロフィー
・映画ポスター等

はぎ木のある風景展

☆11/3(祝) 9時〜16時30分
▽入場料 おとな200円 高校生100円
□中之口村教育委員会 ☎37511112

「秋分の日は獅子の里で 楽しもう」終わる

今年で19回目を数える「観光キャンペーン 角兵衛獅子の舞」

イベントは午後から農村環境改善センターで開催され、会場内では始めに月潟村の特産品の販売が行われました。午後2時から、勇壮な月潟太鼓で開幕、会場を湧かせました。次に大道芸パフォーマンが行われ、「シリウス」が華麗なビジュアルダンスを披露。

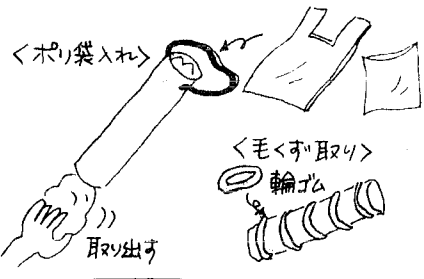
角兵衛獅子の舞では、角兵衛獅子保存会の子供達が口上に乗る「金の鯨銚」・「青海波」・「上下二段の腰だめ」と大技を披露するたび大きな拍手とどよめきが起こり会場は千人を超す観客の拍手で幕を下すことができました。

一方、月潟村商店街メインストリートで行われた大道芸フェスティバル(月潟村商工会主催)では、国内外の大道芸人が9組出演3ヶ所の特設ステージで自転車・アクロバット等の見事な技で観客を魅了していました。

エコライフの知恵袋

固くて丈夫な紙でできているラップの芯は、捨てるのがもったいなく思えるようなしっかりした作りをしています。この丈夫さと形を利用して、何かに使えないかと考える人は多いでしょう。一番ポピュラーなのがポリ袋やビニール袋入れに使う方法で、家庭で見かけることもしばしばあります。穴を開け、ひもで吊るして上から袋を放り込んでいき、下から取り出すという簡単な仕組みですが、たまたま入入れられるので重宝します。

麵棒の代わりに、しわになりやすいスカーフを巻き付けてスカーフの整理に、いくつもの輪ゴムを全体に巻き付け、カーペットの上を転がして毛くず取りに活躍するラップの芯、まだまだ使い道はありそうです。



ラップの芯の利用法

買い物は、

買い物袋持参で

10月は「マイバッグキャンペーン」期間です。買い物にでかけるときは、買い物袋を持参するようにしましょう。

スーパーなどでレジ袋をもらわずに、持参した袋を使うことで資源の節約やごみの減量につながります。また、古紙や廃プラスチックを使ったリサイクル商品など環境にやさしい商品の購入に努めましょう。